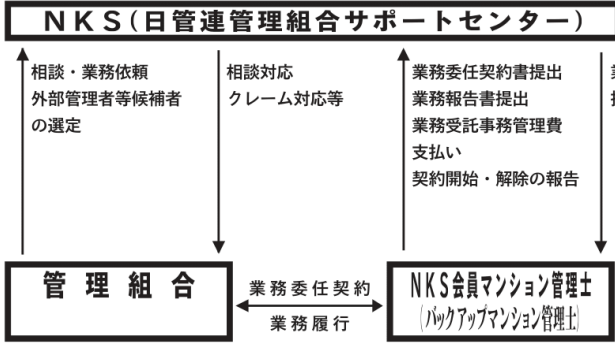


業務のイメージ



日管連管理組合 サポートセンター

「マッチング」を行う15人で理事長には高辻等に際し管理組合の預金口座印鑑を預かる場、該管理士と業務委任契約サポートセンター」就任。顧問として瀬下、不正行為による管約を結んでもらう。会(NKS)。役員は日義浩・日管連会長も名、理組合財産の毀損に對員には定期的研修を連ねた。会員は、日管連が実金として給付する。認定マンション管の向上に努める。

管理者・監事候補 「認定管理士」を紹介

外部管理者 日管連理事らが法人設立

外部管理者方式、管理組合とマンション管理士とのマッチングをサポート。一般社団法人日本マンション管理士会連合会(日管連)幹部のマンション管理士らが、外部管理者方式等における管理者・監事候補の紹介や、業務の履行保証を行う一般社団法人を1月20日付で設立した。23日には母体の日管連と業務提携契約を締結し、事業展開に向け動き出した。



NKSの高辻理事象となるマンション管「グ」だけでなく、業務長。おとし1月、日理士に入会を呼び掛履行保証などのバック管連に設置された「認め、」3月くらいから定マンション管理士普事業の本格稼働を行い「相談体制等も含め、」と意気込む。管理組合とマンション「ム」でチームを務め、管理組合とマンション「い」と話した。

「マッチング」支援 業務の履行保証も

「認定管理士」だけが加入でき、日管連は「認定マンション管理士」による外部管理者方式を推進する。高辻理事長によれば、外部管理者方式を推進する制度の整備に取り組んできたが、定款上「認定マンション管理士」は今年1月末時点で約900人。入会要件は「認定マンション管理士」で▽施が困難だったため、別法人を設け事業展開責任保険に加入▽管理責任業務などで管理組合の預金口座印鑑を保管している場合は、日管連の「管理組合損害補償金給付制度」を利用する。業務のイメージを上図に示した。外部管理者方式の導入を検討する管理組合の希望や要件に、会員の中から管理者・監事候補を一部を寄付する活動を開始したと発表した。

「ども食堂」支援 寄付活動を開始

1月8日に寄付型自動販売機を本社事務所5台、他事務所2台の計7台設置し、売り上げ代金の5%をむすびえに寄付する。「ども食堂」は1月24日、「ども食堂」の支援を行う認定NPO法人全国「ども食堂」(本社東京)は1月24日、「ども食堂」は子ども一人でも行ける無料または低額の食堂。同社は支援を通じて「誰もとりこぼさない社会の実現を目指していきたい」としている。

「バックアップマンション管理士」と名付け、監事をマツチンが採用される。別の会員が業務を継承する業務履行保証制も導入している。自主管理度も整え、現時点では対象外。本部は東京都文京区の日管連事務所、事務局は静岡・浜松の静岡県マンション管理士会事務所に設けた。

「ども食堂」は子ども一人でも行ける無料または低額の食堂。同社は支援を通じて「誰もとりこぼさない社会の実現を目指していきたい」としている。